

1. 短期予測 (p. 1)

① [ネオコン派とブッシュに亀裂]

ウォルフォウィッツ国防副長官らのスタッフからイラン情報がイスラエルに漏洩した疑惑が浮上。イラク安定化を嫌うネオコン=イスラエルに対する反ネオコン派の攻撃か。

② [原油高=株安は反ブッシュ派の仕掛け]

米国内のガソリン価格上昇は、「原油買い=株売り」の裁定取引を仕掛けたケリー支持派の市場介入。ブッシュ支持財界は共和党大会前後に逆取引を仕掛ける。ブッシュはケリーを3%程度離して勝利か。

③ [UFJ=東京三菱は結局、外銀の傘下へ]

UFJは年間8,000億円稼ぎ出す優良企業。東京三菱と統合後は、HSBC、UBS、シティなどが触手。人脈的にモルガン・チェイスが最終的に有利か。

2. 展望①国内情勢 (p. 3)

① [小泉政権はあと2年存続するか?]

郵政民営化は難産の未実現へ。日朝国交交渉は世論とブッシュ政権の反対で時間切れか。2年選挙のない小泉政権は国際情勢の激変がなければ存続か。

② [小泉・竹中の経済政策決定]

政策決定が官僚主導から官邸主導にシフト。背景に米金融・産業界の意向をストレートに汲む経済財政諮問会議の財界人・学者と竹中の共闘体制がある。

3. 展望②北朝鮮情勢 (p. 10)

① [米朝「裏チャンネル」]

北朝鮮のベトナム戦争参戦で始まった「裏チャンネル」。冷戦の後始末を決意したブッシュ政権はこれを断絶。米のシグナルを見誤った金王朝は崩壊へ。

② 高句麗論争と中共軍事介入の可能性

日米をダシに6か国協議で北京を翻弄した北朝鮮を懲罰へ。中共首脳は高句麗史を抹殺し、さらに金正日暗殺、中共軍による北朝鮮保障占領も選択肢に。

4. 展望③プーチン・ロシアによるイラク派兵の可能性

(p. 10)

プーチンはイラクでのロシア権益油田の回復やWTOへの加盟承認などを条件にイラクかアフガニスタンに最大4万人規模の派兵を行い、ブッシュ再選に賭ける。既に米露軍は5月に平和維持共同演習を実施。露ルクオイル社長もイラク油田への復帰を明言し、米石油大手コノコ・フィリップスとの提携も発表。